

状況・要因	対策
【職場】の問題 ● 地元に若者が好む企業がない ● 高学歴に見合った企業がない ● 車で1時間の通勤圏は大変、親も進めない ● 住まいがない 【出産や子育て】の問題 ● 通学距離が長い、帰り道が暗く心配 ● 学童保育サービスが充実していない ● 出産後に復帰できる職場がない ● 出産、子育てへの不安 ● 育児ストレス、相談できない環境 ● 休日診療が少ない、情報が足りない ● コミュニケーションが苦手 【都会】への憧れ ● 現状での不満、都会に出れば何とかなる ● 自己変革 ● 出会いがない、都会への憧れ、自己変革 【活気】がない ● 大きいイベントは一部の人だけが参加 【高齢者】の問題 ● 生活が不安 ● 公共交通等の心配 ● 将来への不安 ● 生活交通への心配 ● 孤独な環境（家庭内でも孤独） 【地域コミュニティ】 ● 転入者に対し「仲間に入れてやる」という思想 【その他】 ● 他県、他市町からの転入者は、転出することに抵抗がない。その子どもも同じ。 ● 土地柄やむを得ない（都市に行き慣れている） ● 3町の持ち味、特性を活かしきれていない ● 養老鉄道（経費ばかりの議論）	空き家等の積極的活用（行政が情報提供） 【安心できるまちづくり】 ● 子育て支援（子育てサポーターの活用） ● 小学校区で、高齢者と子どもが関われる仕組みづくり ● NPO活動の支援 ● 子育て中の親が安心して利用できる施設や仕組み ● 24時間サポートしてもらえるサービス ● 自然の豊かさは誇れる（子育てに良い環境） 市民全員参加のイベントや魅力づくり 【高齢者の活躍】 ● リーダーの育成 ● 活躍できる環境づくり 安心して交流できる【コミュニティ】 ● 対話、刺激、相談、交流、気軽に ● 小さいときから子どもに地域での関わりを持たせる ● 繋がりがあれば、将来帰ってこれる ● 思想の転換（「来ていただく」「このまちに来てください」） 【その他】 ● Uターン、Iターンの支援 ● 車両塗装でイメージチェンジ、駅前広場の整備 ● 定住化の啓蒙、人口減のPR 【魅力あるまちづくり】 ● 海津市の住民自身が、より海津市を知ること

